


ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

| 1. 基本情報 | | | | | | |
|----------------------------------|--|---|------|---------|---------|--|
| 組織名・所属 | | 有限会社アグリテック | | | | |
| 役職 | | 代表取締役社長 | | | | |
| 氏名 | | 中田 浩康 | ふりがな | なかだひろやす | 生年 | 1975年 |
| 連絡先 | 住所 | 〒071-1425 北海道 上川郡 東川町 西町2丁目2-17 | | | | |
| | 電話 | 0166-82-0800 | 携帯電話 | | メールアドレス | ① info@agtec.co.jp |
| 2. 経歴・取組内容、取組分野等 | | | | | | |
| 主な経歴・受賞歴 | <p><経歴> 栃木県出身(小山市)。東京農業大学卒。 ◆大学卒業後、農業・農村関係の出版社である一般社団法人農山漁村文化協会(農文協)に勤務。在職中に、営業・取材等で全国幾多の農山漁村をまわり、地元農家をはじめそこで生活する多くの人々に触れるうちにそれぞれの地域ごとに持つ地域資源の多様性について感銘を受ける。 ◆2001年に農文協を退職しフリーの農村ライターとして北海道旭川エリアを拠点に活動。 ◆2003年に同社の設立とともに入社。地域資源を活用した体験と観光を結びつけた受地主導による「観光まちづくり」ビジネスを展開。とくに都市と農村の交流活動(グリーンツーリズム分野)では、修学旅行等での農業体験や教育的観光プログラムの受入体制整備のほか、地域資源を活用した体験プログラムの企画開発、地域と観光客(利用者)、インバウンドを結び付けるコーディネート等をおこなっている。そのほかまちづくりアドバイザーとして、各自治体や団体と連携し各種プロジェクトに関わりながら交流人口増加からの地域活性化のお手伝いをおこなっている。また地域交流ビジネスとして独自の「6次観光化」を提唱している。 ◆2007年より企画営業部長、2012年より代表取締役役に就任、現職。 ◆総務省地域力創造アドバイザー(地域人材ネット登録) ◆著書等:月刊誌「北海道経済」コラム連載中。「農業体験受入Q&A集」「地域資源を掘り起こす」(北海道協同組合通信社刊監修)ほか多数</p> | | | | | |
| | <p><主な取り組み内容> 弊社では地域資源を活用した体験型観光推進での交流人口・関係人口増加による観光まちづくりにおける仕組みづくりをサポートしています。そしてこれらの取り組みを通して「また行きたくなるまちづくり」「住んでいて良かったまちづくり」をご提案しています。 ◆地域資源調査分析と活用 自分たちが住んでいる地域の自然や歴史、文化、また日常の生活文化などに着目した地域資源の掘り起こしとコンテンツへの活用のご提案をしています。 ◆地域資源を活用した観光商品化、交流活動事業 観光プログラム、アクティビティの開発、受け入れ検証などその方法やノウハウについて指導します。SDGsによるプログラム企画開発のほか、グリーンツーリズム、サステナブルツーリズム、アドベンチャートラベル、都市農村交流活動、農村体験ツーリズムの受入の取り組みについての指導や、受入のノウハウなどご指導しています。 ◆受地主導型受入環境整備とブランディング、ネットワーク構築 観光資源に磨きをかけるプログラムづくり、内発的なホスピタリティの育成など指導しています。地域資源を観光資源化し、来訪者が訪れてみたくなるきっかけづくりをしていきます。 ◆インバウンド観光客における体制整備 地域在住の外国人や日本語学校留学生、また地域おこし協力隊やCIR(国際交流員)等を活用し、体験活動に対し外国語での通訳や体験のアシスタントを担う人材等の育成や、外国人ガイドの育成等による、インバウンド受入体制のお手伝いをしています。 ◆コロナ禍における観光戦略 2019年よりパンデミックを引き起こしている新型コロナウイルス感染症において、観光産業は打撃を受けています。オンラインを使ったツーリズムや、リモートワーク、ワーケーションなど、コロナ禍の中における新たなツーリズムスタイルについていっしょに考え、取り組みを推進しています。 ◆地域観光プログラムや多様なアクティビティを提供できる「Higashikawa Activity Center」(通称:HAC)を2021年7月にオープン。店舗型のアクティビティ体験受付カウンターを設置し、観光案内やアクティビティの提供のほか、地域観光のポータル専門店として展開。</p> <p><過去の主な取組実績> ◆農村ツーリズム(北海道における農泊推進)における各種講演等(北海道) ◆観光アクティビティ商品開発、受け入れ体制整備(石狩市、東川町、各観光協会、DMO等) ◆インバウンド観光客向けの体験アクティビティ商品開発(DMO、各観光協会、農水省農泊推進事業採択地域等) ◆観光ガイド育成、地域在住日本語学校留学生や地域在住外国人等を活用した体験ガイドアシスタント人材の育成、外国人を活用したツアーガイド育成等(DMO、観光協会、農水省農泊推進事業採択地域等) ◆コロナ禍におけるオンラインツーリズム、地域インフルエンサー活用、ワーケーションプログラム開発(DMO、東川町、上川町ほか)</p> | | | | | |
| 取組分野 | 最も専門性の高い分野 | 地域資源を活用した観光振興、産業振興、観光まちづくり | | | | |
| | その他活動実績のある分野 | SDGs、持続可能型地域振興 | | | | |
| | その他活動実績のある分野 | 地域イベント交流、国際交流 | | | | |
| | その他活動実績のある分野 | 住民参加・協働型まちづくり | | | | |
| | その他活動実績のある分野 | 過疎地域、限界集落の振興 | | | | |
| 3. 関連ホームページ | | | | | | |
| 名称 | | アドレス | | | | |
| 有限会社アグリテック | | http://www.agtec.co.jp | | | | |
| HAC(Higashikawa Activity Center) | | http://www.agtec.co.jp/activity-center/ | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| | |
|---|---|
| 4. ふるさと財団での実績 | |
| 外 活 部 用 専 門 成 家 | <ul style="list-style-type: none"> ◆2018年度～19年度 北海道石狩市 「地域と企業を結び観光でまちの未来を創るプロジェクト」 ◆2005年度～07年度 北海道東川町 「自然体験型観光推進事業」 |
| 外 部 短 期 専 門 家 派 遣 | <ul style="list-style-type: none"> ◆2015年度 北海道旭川市 ◆2014年度 北海道中川町 「地域住民主導の集落活性化」 ◆2011年度 北海道雨竜郡北竜町 ◆2010年度 北海道上川郡剣淵町 |
| 地 域 セ ミ ナ ー 再 生 | |
| そ の ほ か | |

| 5. 財団報告書 | |
|-----------------------|---|
| 名称 | アドレス |
| 令和元年度 新・地域再生マネージャー事業 | https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/R1chiikisaiseihoukoku.pdf |
| 平成30年度 新・地域再生マネージャー事業 | https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2019/06/H30chiikisaiseihoukoku.pdf |
| 平成29年度 新・地域再生マネージャー事業 | https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/H29chiikisaiseihoukoku.pdf |
| 平成27年度 新・地域再生マネージャー事業 | http://www.furusato-zaidan.or.jp/H27jigyouhoukokusyo.pdf |
| 平成26年度 新・地域再生マネージャー事業 | http://www.furusato-zaidan.or.jp/H26jigyouhoukokusyo.pdf |
| 平成23年度 新・地域再生マネージャー事業 | http://www.furusato-zaidan.or.jp/3-H23-shinchiikisaiseiM-houkokusho.pdf |
| 平成19年度 地域再生マネージャー事業 | http://www.furusato-zaidan.or.jp/chiiki/pdf5/1213146357115.pdf |
| | |
| | |
| | |

| | |
|---|---|
| 6. 写真・ひとことPR | |
|  | <p><ひとことPR></p> <p>地域が地域であるために、まずは自分の住んでいる地域の資源(宝物)を探すことからはじめてみませんか？ 地域のみなさんが地域資源を知り、他人事ではなく当事者となって考えていく場を創出していきます。さらに それら地域資源を活用しながら観光や交流人口増加の推進を切り口とした地域活性化を図っていきます。 観光まちづくりの視点から地域の課題解決、地域再生の一助になればと思います。</p> |